



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,242	3.7	974	△0.8	1,056	△1.9	654	17.5
24年3月期第3四半期	14,691	△0.3	981	△29.9	1,076	△29.3	557	△42.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 837百万円 (41.7%) 24年3月期第3四半期 591百万円 (△32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.41	—
24年3月期第3四半期	20.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,380	13,803	69.8
24年3月期	18,601	12,934	69.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,521百万円 24年3月期 12,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年2月1日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.8	1,000	△2.4	1,100	△4.1	700	10.0	26.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年2月1日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)
 (注) 詳細は(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	29,748,200 株	24年3月期	29,748,200 株
25年3月期3Q	2,862,185 株	24年3月期	3,005,585 株
25年3月期3Q	26,828,765 株	24年3月期3Q	26,748,045 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えするなか、緩やかな回復傾向をたどることが期待されたものの、欧州金融不安や新興国経済の減速などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイ国において、イヌリンを製造販売するための合弁会社を設立し、タイ工場建設などのプロジェクト推進に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,242百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益974百万円（同0.8%減）、経常利益1,056百万円（同1.9%減）となり、特別損失として投資有価証券償還損5百万円など総額12百万円を計上した結果、四半期純利益は654百万円（同17.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高10,113百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益1,066百万円（同2.8%減）となりました。売上高は、販売価格が下落したものの、大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量が前年同期比で増加したことにより増収となりました。損益面では、原料糖の仕入コストは減少したものの、エネルギーコストの上昇もあり、販売価格の下落を吸収しきれず減益となりました。

② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,674百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益50百万円（同110.5%増）となりました。売上高は、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が引き続き好調に推移したことや連結子会社ユニテックフーズ(株)の主力商品であるゼラチン、ペクチン等の拡販効果により、前年同期比で増収となりました。損益面では、設備投資による減価償却費及び販促活動における費用等が増加したものの、売上増加により前年同期比で増益となりました。

③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高453百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益392百万円（同1.0%減）となりました。小規模賃貸住宅の稼働率低下により、前年同期比で若干ながら減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、19,380百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、8,549百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、10,831百万円となりました。これは主に有形固定資産「その他」に含まれる建設仮勘定及び投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ1.8%増加し、3,755百万円となりました。これは主に未払法人税等及び「その他」に含まれる未払消費税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ7.8%減少し、1,821百万円となりました。これは主に長期借入金及び退職給付引当金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、13,803百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加、少数株主持分の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績動向等を勘案した結果、平成24年4月27日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成25年2月1日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,033	2,185,754
受取手形及び売掛金	1,975,956	2,005,924
有価証券	322,069	322,081
商品及び製品	1,595,762	1,528,178
仕掛品	152,386	142,701
原材料及び貯蔵品	1,279,084	954,855
その他	1,021,209	1,412,850
貸倒引当金	△2,504	△2,922
流動資産合計	8,201,997	8,549,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,228	700,786
機械装置及び運搬具(純額)	233,151	201,026
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	55,376	381,289
有形固定資産合計	3,037,592	3,331,936
無形固定資産		
のれん	901,776	820,784
その他	109,321	100,448
無形固定資産合計	1,011,097	921,233
投資その他の資産		
投資有価証券	4,111,053	4,360,862
関係会社長期貸付金	1,926,200	2,003,952
その他	383,290	283,270
貸倒引当金	△70,090	△70,213
投資その他の資産合計	6,350,453	6,577,870
固定資産合計	10,399,143	10,831,041
資産合計	18,601,140	19,380,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,305,513	1,205,824
短期借入金	1,421,859	1,402,032
未払法人税等	109,837	183,921
賞与引当金	110,502	64,093
役員賞与引当金	10,610	7,370
その他	731,837	892,399
流動負債合計	3,690,159	3,755,641
固定負債		
長期借入金	997,716	877,868
退職給付引当金	348,702	280,636
役員退職慰労引当金	147,221	158,132
資産除去債務	54,237	54,652
その他	428,987	450,407
固定負債合計	1,976,863	1,821,695
負債合計	5,667,023	5,577,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,305	2,530,171
利益剰余金	9,241,908	9,629,399
自己株式	△740,988	△705,710
株主資本合計	12,549,685	12,978,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,715	507,401
繰延ヘッジ損益	△1,283	—
為替換算調整勘定	—	35,278
その他の包括利益累計額合計	384,431	542,679
少数株主持分	—	282,128
純資産合計	12,934,117	13,803,128
負債純資産合計	18,601,140	19,380,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	14,691,589	15,242,226
売上原価	11,320,828	11,759,335
売上総利益	3,370,761	3,482,890
販売費及び一般管理費	2,388,808	2,508,359
営業利益	981,952	974,531
営業外収益		
受取利息	37,964	38,028
受取配当金	43,613	45,444
持分法による投資利益	47,000	—
その他	15,411	23,286
営業外収益合計	143,989	106,760
営業外費用		
支払利息	26,500	20,716
匿名組合投資損失	16,270	—
持分法による投資損失	—	2,155
その他	6,623	2,248
営業外費用合計	49,394	25,120
経常利益	1,076,547	1,056,170
特別損失		
固定資産除却損	4,031	4,841
減損損失	9,125	—
投資有価証券償還損	—	5,455
投資有価証券評価損	81,454	2,438
その他	72	—
特別損失合計	94,684	12,735
税金等調整前四半期純利益	981,863	1,043,435
法人税、住民税及び事業税	317,788	343,027
法人税等調整額	106,658	48,598
法人税等合計	424,447	391,626
少数株主損益調整前四半期純利益	557,415	651,809
少数株主損失(△)	—	△3,107
四半期純利益	557,415	654,917

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	557,415	651,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,071	121,686
繰延ヘッジ損益	1,026	1,283
為替換算調整勘定	—	61,900
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1,233
その他の包括利益合計	34,097	186,102
四半期包括利益	591,513	837,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591,513	813,164
少数株主に係る四半期包括利益	—	24,747

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成 23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,050,018	4,182,554	459,017	14,691,589	—	14,691,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,112	578	832	11,523	△11,523	—
計	10,060,130	4,183,132	459,850	14,703,113	△11,523	14,691,589
セグメント利益	1,097,587	23,844	395,975	1,517,407	△535,455	981,952

(注) 1 セグメント利益の調整額535,455千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成 24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,113,539	4,674,745	453,941	15,242,226	—	15,242,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,966	1,941	832	12,740	△12,740	—
計	10,123,506	4,676,687	454,773	15,254,967	△12,740	15,242,226
セグメント利益	1,066,520	50,191	392,130	1,508,842	△534,311	974,531

(注) 1 セグメント利益の調整額534,311千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

多額の資金の借入

連結子会社でありますFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.は、平成25年1月28日開催の同社取締役会において、金融機関より多額な設備投資(工場建設)資金の借入を以下のとおり行うことを決議いたしました。

(1) 資金用途	設備投資(工場建設)資金
(2) 借入先金融機関	みずほコーポレート銀行
(3) 借入金額	340百万バーツ(約10億円)
(4) 利率	変動金利
(5) 借入実施時期	平成25年2月より上記金額を複数の分割により借入する予定
(6) その他	当社は、当該借入に対して、持分相当額(55%)の保証を行う予定